

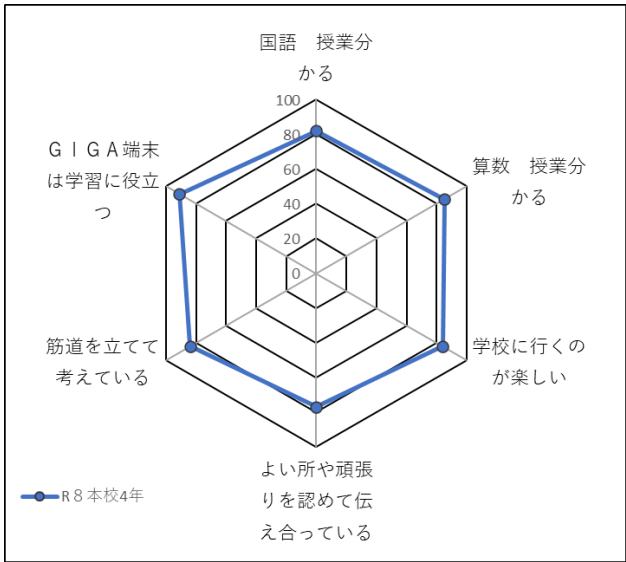
令和8年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査
結果の概要と今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月14日（火）に行いました4～6年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月23日（木）に行いました6年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学校教育目標（めざす子どもの姿）の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは児童の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取組の様子は、今後の学校だよりや学年だより、学校報告会や説明会等でもお伝えします

学校教育目標（めざす子どもの姿）

- かしこく
- 学びの楽しさが感じられる授業やわかる授業、達成感が味わえる授業から意欲と好奇心をもって学習に臨む子や生きる知恵をもった子を育てる
- やさしく
- 豊かな情操の育成から自分、他人、集団を大切に作る心をもった子を育てる
- たくましく
- 基本的な生活習慣の育成（家庭・地域との連携）や集団での健全な遊びや自分にあった運動から心身ともに健康な子を育てる

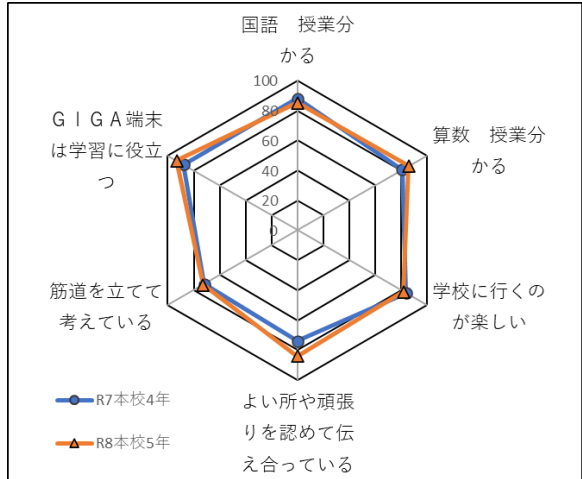
令和8年度 川崎市学習状況調査 4年生



	国語 読むこと	算数 思考・判断・表現
R8 本校4年	51	35
R8 全体4年	59	50

- ・「国語の授業がわかる」は82ポイントでした。普段の授業で「分かった」ことを実感している児童が比較的多いことが分かります。その反面、「国語 読むこと」は51ポイントで、「分かった」つもりでいても、実際は十分に理解できていないという実態が浮かび上がりました。今後は、既習内容の着実な定着を図り、次年度は平均正答率60ポイントを目指します。
- ・「算数の授業がわかる」も85ポイントと比較的高いですが、一方で「思考・判断・表現」領域の問題の平均正答率は35ポイントと低いです。このような結果を踏まえ、GIGA 端末等の ICT 機器を有効に活用した個に応じた授業改善を進め、実践を重ねていくことで、5ポイントアップを目指します。
- ・「友達のよいところやがんばりを認めて伝え合っている」は77ポイントでした。学校教育目標「豊かな情操の育成から、自分、他人、集団を大切に作る心をもった子を育てる」を踏まえ、道徳教育等の充実をより意図的・計画的に進めていきます。そして、自分の考えや意見を積極的に伝え合い、それらを尊重していく教育活動を着実に行うことで、次年度は90ポイントを目指します。

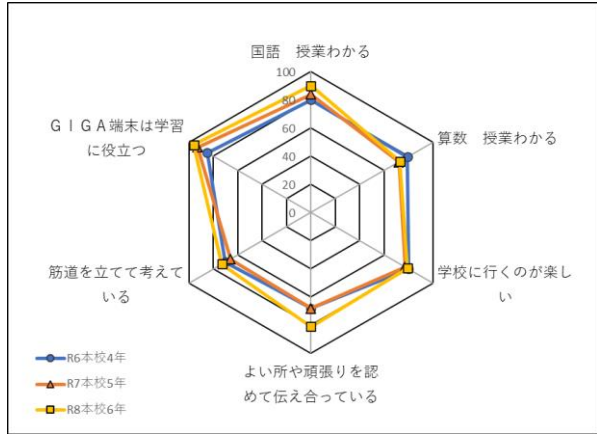
令和8年度 川崎市学習状況調査 5年生



	国語 読むこと	算数 思考・判断・表現
R8 本校 5年	39	35
R8 全体 5年	48	46

- ・「国語の授業がわかる」は85ポイントでした。4年次から3ポイント下がっています。前年度と比べ、国語の学習を理解できていると感じている児童が僅かに減少しています。また、今年度の「読むこと」については39ポイントで、全国平均の48ポイントを下回りました。朝に設定している15分間の「読書タイム」の時間を着実に実施し、文章の要旨をしっかりとつかむ力の習熟に努めます。次年度は5ポイントアップを目指します。
- ・「算数の授業がわかる」は71ポイントでした。今後は、児童一人一人の習熟度を的確に把握し、それぞれの学力に応じた個別最適な学びの場を保障しつつ、基礎的・基本的な学習内容の着実な定着を図ります。次年度は10ポイントアップを目指します。
- ・「学習するとき、筋道を立てて物事を考えている」は73ポイントでした。教師が比較・分類・関係づけを意識した授業の展開をすることや、考える順序及び根拠を言語化する学習活動を日常的に積み重ねることで、次年度は80ポイントを目指します。

令和8年度川崎市学習状況調査 6年生



	国語 読むこと	算数 思考・判断・表現
R8 本校 6年	44	30
R8 全体 6年	55	45

- ・「国語の授業がわかる」は90ポイントで前年度と比較して6ポイント、さらに前々年度と比較すると10ポイント上がっています。これは、児童につけたい力を明確にした授業を行い、単元や毎時間の振り返りを大事にしてきた成果と捉えることができます。一方で、「国語 読むこと」は44ポイントで前年度と同じ数値であるものの、全国平均の55ポイントを下回りました。昨年度と同様に引き続き低い水準にあり、具体的な対策として、日頃の授業で叙述を根拠にして説明する習慣を身につけることや、複数の文章や資料を読み比べることを通して自分の考えをもつ学習活動等を取り入れて、次年度は全国水準と同等を目指します。
- ・「算数の授業がわかる」は73ポイントでした。前年度と比べ、1ポイントアップしています。引き続き学校教育目標の重点「身に付けさせたい資質・能力の育成」に向けて、教師が教材研究や授業を準備する時間を十分に確保し、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を行います。そして、本時や単元で育てる資質・能力を明確にして、基礎的な学力の確かな定着を図ります。次年度は5ポイントアップを目指します。
- ・全国調査の「地域社会をよくするために何か考えますか」は、83ポイントで全国平均の80ポイントを上回りました。これは本校と地域社会とのつながりが深いことを示しており、今後より一層の連携に努めます。

令和8年度全国学力・学習状況調査 6年生

